

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月21日更新

事務事業名		児童・生徒用パソコン整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	宮川 里佳
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	5312
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10612 他	根拠法令		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	児童生徒の情報教育用として、パソコン教室のPCを整備する事業。国の補助事業による導入をきっかけに開始し、現在は単費で整備を行っている。令和元年9月に市内全小中学校のパソコン室のPC401台のリプレースを行って5年リース契約をしている。 また、文科省の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画2018年～2022年」、令和元年度からの「GIGAスクール構想の実現」に加え、新型コロナウイルス感染症対策を講ずるため、令和2年度に市内小中学校に学校教育ネットワーク無線環境整備・電源キャビネット整備工事ははじめ、児童生徒1人1台のタブレット端末整備、学校からのインターネット通信環境の整備の予算を計上し、学校休業中においても遠隔授業が受けられる環境を一体的に整備することになった。
【業務の流れ】	パソコン教室PCのリース料の支払い。 条件付き一般競争入札で市内小中学校校内無線環境整備・電源キャビネット整備工事の実施。 県共同調達により児童生徒1人1台のタブレット端末整備を実施。
【主な予算費目】	役務費、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、修繕費
【意見や要望】	H31全国学力調査中学英語におけるOSのバージョンはWindows7以上、HDDは空き容量2GB以上、メモリ4GB以上、USB空きポート1ポート以上(調査用USBヘッドセットで利用)が必要。 R2第2回市議会定例会において、国のGIGAスクール構想が始まることにより市内小中学校のWi-Fi環境整備や1人1台タブレット端末の整備に関して、整備に向けた準備はどのように進んでいるのかと市議会から一般質問があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	【児・生PC】PC教室のPC等の維持管理及び各種機器リース、通信費の支払いを行った。 【GIGA】小中学校職員室ネットワーク無線環境整備ネット整備工事(10校)、タブレット端末修繕(140台(小学校106台、中学校34台)、学校からのインターネット通信環境の強化(12校)を実施した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) パソコン教室に設置している機器のリース料の支払い。タブレット端末の修繕費、タブレット保守委託料の支払い。 令和4年度より【10612】児童・生徒用パソコン整備事業と【10700】教師用パソコン整備事業を新規事業【11802】小中学校ICT機器整備事業へ統合。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 整備する学校数	校	ICT機器整備事業へ統合することによる事業費の減
イ: パソコン等配備台数	台	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	児童・生徒	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 小学校児童数 人
		イ: 中学校生徒数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	パソコン機器の充実を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 授業時における児童・生徒1人当たりの台数 台
		イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
適切な学習環境になる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 校		10	10	12	12				
	イ 台		431	8,061	8,061	8,061				
② 対象指標	ア 人		4,855	4,834	4,950	4,956				
	イ 人		2,038	2,110	2,130	2,217				
③ 成果指標	ア 台		1	1	1	1				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		484,753					
		都道府県支出金	千円				8,863			
		地方債	千円		71,100	2,200	1,300			
		その他	千円		16					
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	17,157	72,528	31,623	170,235				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	3				
	延べ業務時間	時間	530	823	100	823				
	(B) 人件費計	千円	2,100	3,245	398	3,217				
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,257	631,642	34,221	183,615				

事務事業名	児童・生徒用パソコン整備事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 長期継続契約等にて例年同様の賃貸借を行うため現状維持が可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 1人1台の機器の整備ができたことにより、現状維持が妥当である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 教育上必要である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 リース契約の統一化を図っており、競争入札対象機器の台数を増やすことで一台当りの価格の削減が見込まれる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、削減余地がない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全学校を対象としており、特定の学校に偏っていない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校の授業で使用するものであるため、市で整備することは妥当である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

1人1台の機器を整備できており特に問題はない。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上			○																	
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					